

水リスクと企業



グローバルウォーター・ジャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶15

日本に比べると実感はないが、海外ではスマートウォーターネットワーク市場(SWN)が急拡大している。SWNとは、個々の需要者やシステム管理に必要な場所に設置された電子式モニターから提供されるデータを処理し、収益改善に寄与する情報処理システムである。

水道事業経営は漏水と盗水との戦い

世界銀行の調査では、世界中で漏水に上り矢われる経済損失は毎年1・4兆円を超えると指摘している。また米国のセンサス社の報告によると、毎年漏水で失われる費用は合計で1兆円を超え、この分野にSWNを構築すると1兆3千億円以上の利益が生み出され、従ってSWNは「世界的な水資源の解決と水道事業体の収益改善の決め手」であると述べている。

英国の調査会社グローバルウォーター・インテリジェンス(GWI)は2013年に36億ドルのSWN市場が18年には約2・7倍の96億ドル(約1兆円)に、また米国の調査会社ラックス・リサーチ社は20年までに163億ドル(約1・7兆円)規模になると予測し

である。

13年におけるSWNの市場構成

SWNの市場規模は現在36億ドルで、その内訳は漏水管理が41%、顧客サービスが37%、管路管理が20%、水質管理が2%となっている(表)。

18年のSWN市場予測:1兆円超
00年以降、米国を中心に普及してきたSWN市場

表 SWNの市場構成 (2013年)

項目	市場規模 (割合)	内訳概要
漏水管理	14億9400万ドル (41%)	・ポンプ、バルブ ・圧力・流量管理 ・通信設備 ・データ管理
顧客サービス	13億2200万ドル (37%)	・スマートメーター ・通信設備 ・メーター据え付け
給水管路管理	7億2600万ドル (20%)	・圧力・流量管理 ・据え付け ・データ管理
水質管理	7700万ドル (2%)	・水質センサー ・データ管理

出典) GWI Capital expenditure on smart water networks (2013)

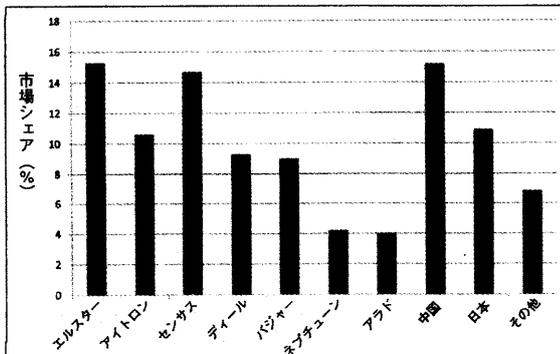
急拡大するスマートウォーターネットワーク市場

20年には1・7兆円規模に

本の水道事業指標を国際標準で換算するとNRWは9・93%(09年度)であり、18年には30億ドル規模になると予測されている。このとき北米地域は17億ドル、欧州地域は12億ドルとなり、この

本の水道事業指標を国際標準で換算するとNRWは9・93%(09年度)であり、18年には30億ドル規模になると予測されている。このとき北米地域は17億ドル、欧州地域は12億ドルとなり、この

図 水道メーターメーカーの世界市場シェア (2009年)



出典) 愛知時計電機調べ

場ではエルスター(独)、アイロン(米)、センサス(米)、ダイヤル(独)、日本では愛知時計電機などが大きな市場を占めている。勝てる日本企業の戦略は?

残念ながらグローバル市場での日本メーカーのプレゼンスは低い。世界に広がるSWNビジネスで日本が勝つためには、まず①世界標準作りへの参画②海外メーカーとのアライアンス③国際水平分業による量産コストの低減④電力やガス事業との共同ネットワーク化への参加⑤スマートメーター単体売りのよりソリューション分野(課金・請求、顧客管理、ランコス削減、リスク管理など)の開拓が必須である。

水と情報の流れを早くつかんだものが勝利する時代である。